

## 東北地方太平洋沖地震に伴うボランティアについて

報道されておりますように、東北地方太平洋沖地震により東北・関東地方を中心に甚大な被害が出ております。

現在本校では、ボランティアセンターが中心となって次のようなボランティア活動を行っています。

### 【現在行っているボランティア活動】

- ・国際医療福祉大学病院および塩谷病院・関連施設におけるボランティア活動
- ・大田原市社会福祉協議会災害ボランティアセンターでのボランティア活動
- ・那須町社会福祉協議会災害ボランティアセンターでのボランティア活動
- ・認定特定非営利活動法人とちぎボランティアネットワークの炊き出し用物資集め協力 等  
※日々、ニーズが変化しており、状況に合わせたボランティア活動を行っております

活動参加を希望する学生・教職員のみなさんは下記までご連絡ください。

### 『国際医療福祉大学ボランティアセンター』

所在地：特別養護老人ホーム風花苑 1階（住所：大田原市北金丸 2600-7）

開設時間：8時30分～17時30分

電話：0287-20-5106 E-mail：[iuhwvc-nakama@iuhw.ac.jp](mailto:iuhwvc-nakama@iuhw.ac.jp)

担当：災害ボランティア係

なお、活動はニーズに合わせて展開しますので、必ずしもすぐに希望の活動があるとは限りません。

なお、以下の点に注意してください。

### 今、注意すべきこと

#### ■ボランティアの募集があるまで被災地には入らない

一般のボランティアが活動できる状況になるまで、現地に入ることは控えてください。現地では被害状況の把握と専門スタッフによる救護活動を最優先に行っています。危険箇所も多く、個人のボランティアが許可なく現地に入ると二次災害の恐れもあります。

（過去の災害をみても、その都度「押しかけボランティア」が現地にとって大変迷惑であることが問題視されています）

現時点では、アクセスに大幅な支障や交通規制もあります。上記のとおり十分留意してください。

#### ■物資は送らない

物資の不足が報道されていますが、個人からの物資の送付はくれぐれも控えてください。物資の仕分け・輸送のシステムや人員の確保が困難な現時点では、適切な支援とは言えません。

（阪神淡路大震災の際、全国から送られてきた物資が結局活かせずに終わった経緯があります）

上記のとおり十分留意してください。

#### ■氾濫する情報から正しい情報を見極める

災害時は特に多種多様な情報が錯綜します。信頼のおける情報を得る方法の一つとして公的機関により発信される情報に着目してください。